



青山ラグー現役通信



ご支援ありがとうございます

OBの皆様にはいつもご支援をいただき、感謝申し上げます。昨年に引き続き、8月の青山ラグー祭が中止ということで、現役選手たちも非常に残念がっております。そうした中、昨年に引き続きボールを寄贈いただけるということで、現役とOBの繋がりを感じながら日々の練習に励んでいきたいと思っております。

昨年度の花園予選はベスト8

昨年は春の大会が全て中止となりましたが、3年生6人とマネージャー1人が残ってくれました。迎えた花園予選では、1回戦の合同B戦を難なく突破すると、準々決勝の相手は新潟工業高校。組み合わせが決まった7月から、SO 榎本主将（3年）とCTB 三宅副将（3年）を中心にひたすらディフェンスを鍛えてきました。新潟のキックオフで始まった前半直後、FL 岩崎（3年）がキックをキャッチした相手に強烈なタックルでノックオンを誘います。しかしこのプレーで岩崎は負傷し無念の退場。このスクラムから展開し、ゴール前5mまで迫りますが、最後はボールを奪われ、最初で最大のチャンスは潰えます。ここから相手の猛攻に耐える展開に。さらに後半開始早々にFWの核であるNO8 中野（3年）が負傷退場してFWの控えがいなくなり、14人に。それでも鍛えてきたディフェンスでひたすら粘ります。急遽出場した三浦（1年）も含めて全員が鋭いタックルを続けました。1年前のNHK杯では1次攻撃から抜かれてトライされていた相手を5次、6次と止め続けることができるようになり、大きな成長が感じられました。



相手FWの選手に低いタックルをする三宅(12番)

男子も女子もがんばっています

今年度は部員が15人そろわない状態からのスタートとなりました。県総体は部員10人と助っ人3人の13人で臨みました。2回戦は怪我人が出たため規定の人数に届かず、残念ながら棄権しました。現在、花園予選に向けて3年生の選手3人とマネージャー1人が現役を続行しております。そのうちの1人であるPR 吉岡は今年の国体予選の県選抜候補に選ばれております。1年生がメンバーの多くを占める若い布陣となりますが、期待の持てる選手ばかりで今後の成長が楽しみです。また、女子も本格的にラグビーを始めました。2年生の中野と1年生の茅原はスクラムやタックルなどのコンタクト練習も行っております。中野は5月にビッグスワンで行われた女子の交流戦で初めて試合に出場し、トライも決めました。



トライを決めた中野(左)と1年生

戦績

令和2年度 花園予選
1回戦 新潟 62 - 0 合同B
準々決勝 新潟 0 - 90 新潟工業

令和2年度 NHK杯
1回戦 新潟 24 - 15 下越合同
準々決勝 新潟 0 - 41 新発田南

令和3年度 地区大会 (Bブロック)
1回戦 新潟 14 - 61 長岡
順位戦 新潟 0 - 10 下越合同

令和3年度 県総体
1回戦 新潟 32 - 0 村上
2回戦 怪我のため棄権

令和3年度 アシックスカップ (7人制) 予選
1回戦 新潟 19 - 19 巻 (抽選で巻が次戦へ)
順位戦 新潟 19 - 14 村上
順位戦 新潟 5 - 55 北越

現役チーム体制

主将 吉岡 草志 (3年・PR)
副将 波多野雄真 (3年・FB)
監督 谷川永一郎
部長 志賀荘一郎
顧問 田平 力也
部員数 男子: 3年3人、2年3人、1年9人
女子: 2年1人、1年3人
マネージャー: 3年1人、2年2人



BK唯一の3年波多野は怪我から5月に復帰

今後の予定

新潟県の部活動活動指針に従い、菅平合宿は中止としました。大会については以下の日程が予定されていますが、変更もあり得るので新潟県協会のHPでご確認ください。

9月25日(土)	花園予選 1回戦	11月3日(水)	NHK杯 1回戦
10月16日(土)	準々決勝	11月7日(日)	準々決勝
10月23日(土)	準決勝	11月13日(土)	準決勝
10月30日(土)	決勝	11月20日(土)	決勝

大学情報

トップレベルの大学ラグビーで頑張るOBがこの春また増えました。内山凜太郎君(令和2年卒)が早稲田大学ラグビー部に、榎本幹也君(令和3年卒)が筑波大学ラグビー部に入部しました。また、立教大学ラグビー部4年の関原泰河君、成蹊大学ラグビー部3年の鈴木辰巳君はすでに主力としてAチームで活躍しています。筑波大学3年の齋藤舞さんもマネージャーとして頑張っています。多くのことを学んで、母校にも指導に来てもらいたいと思います。青山ラグークラブの皆様、大学で活躍する彼らの応援もよろしくお願いいたします。

(文責 監督 谷川永一郎(104回卒))